

「システム監査基準」と「システム管理基準」のはやわかり解説

～ 監査人・情報システム部門・IT 企業や IT 経営で押さえるべき重要ポイント ～

《開催要領》

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2018年 7月 27日(金) 9:30~12:30

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《開催にあたって》

2018年(平成30年)4月20日に経産省の「システム監査基準」と「システム管理基準」の改訂版がリリースされました。新たなIT環境・開発/運用状況に沿った改訂により、監査する側・される側やIT企業・IT経営における対応にも幅広く影響を与える両基準について、健全なIT対応・監査対応の観点から要点をはやわかり解説でお届けします。上場IT企業・大手ベンダーの顧問・アドバイザーを務め、各社のIT統制・情報セキュリティ対策・監査法人対応を指導してきた講師が、3時間でコンパクトにまとめます。

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智恵 氏



講師紹介
早大卒。米国MBA修了。国連勤務にて国連内部監査業務専門官、国連戦略立案専門官、リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括や、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、日本監査役協会の全体会パネリストなどを歴任。NHK「クローズアップ現代」TV出演や著書33冊など産官学を通じて幅広く活動中。講師プロフィール詳細は <http://www.jmri.co.jp/> にて。

《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

| | | | |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|
| 正会員 | 34,560円(本体価格 32,000円) | 一般 | 37,800円(本体価格 35,000円) |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|

| | | | |
|---|-------------|--|--|
| 181668-0202 「システム監査基準」と「システム管理基準」のはやわかり解説 | | | |
| ふりがな 会社名 | | | |
| 住所 | | | |
| TEL | FAX | | |
| ふりがな ご氏名 | 所 属 職 | | |
| E-mail | | | |

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

・プログラム・

1. システム監査基準 (2018年4月改訂版)

- IT経営やIT利活用を進める際に悩ましい課題と対応
- 基準1: システム監査人の権限と責任等の明確化
- 基準2: 監査能力の保持と向上
- 基準3: システム監査に対するニーズの把握と品質の確保
- 基準4: システム監査人としての独立性と客観性の保持
- 基準5: 慎重な姿勢と倫理の保持
- 基準6: 監査計画策定の全般的留意事項
- 基準7: リスクの評価に基づく監査計画の策定
- 基準8: 監査証拠の入手と評価
- 基準9: 監査調査の作成と保管
- 基準10: 監査の結論の形成
- 基準11: 監査報告書の作成と提出
- 基準12: 改善提案のフォローアップ
- 各基準で何をどうとらえ留意・対応すればよいか?

2. システム管理基準 (2018年4月改訂版) ~その1~

- ITガバナンスとITマネジメント: 正当性と説明責任の担保と内部でのIT管理策
- システム管理基準の枠組み: ITガバナンスの定義・EDMモデル・6原則・組織体制
- ITガバナンス: 情報システム戦略の方針&目標設定・戦略遂行の体制からリスクマネジメント業務継続管理・評価・指示・モニタ
- 企画フェーズ: プロジェクト計画の管理・要件定義の管理・調達の管理
- 開発フェーズ: 開発ルールの管理・基本設計の監理・詳細設計の監理からプロジェクト管理・品質管理
- アジャイル開発: 概要・各人材の役割・開発のプロセス(反復開発)
- 各基準で何をどうとらえ留意・対応すればよいか?

3. システム管理基準 (2018年4月改訂版) ~その2~

- 運用・利用フェーズ: 運用管理ルール・運用管理・情報セキュリティ管理からインシデント管理サービスデスク管理
- 保守フェーズ: 保守ルール・保守計画・情報セキュリティ管理からソフトウェア構成管理ライフサイクル管理
- 外部サービス管理: 外部サービス利用計画・委託先選定からサービスレベル管理(SLM)
- 事業継続管理: リスクアセスメントから計画の見直しの管理
- 人的資源管理: 責任と権限の管理・業務遂行の管理から健康管理
- ドキュメント管理: ドキュメントの作成・管理
- 各基準で何をどうとらえ留意・対応すればよいか?

4. 質疑応答・まとめ

※最新動向や社会状況等に応じて、上記項目例は適宜改訂・修正させて頂く可能性がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。